**▶インターネット上での安全なやりとり**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　児童が、SNSなどのコミュニティサイト、動画サイト、ゲームサイトなどを介し、見知らぬ人と出会い、交流する機会が増えています。インターネット上での交流は、相手の投稿内容の真偽を見抜くことが難しいため、例え虚偽であっても安易に信頼しがちです。子どもは、求められるままに個人情報や写真、動画などを送信することもあります。

　学校では、「インターネット上での安全なやりとり」という学習を行いました。スマートフォン、タブレット、ゲーム機などを利用するときには、次のようなことに気をつけるよう家庭でも話し合っていただきますようお願いいたします。

**１．悪いことを考えている人は怪しくないように振る舞います。**

　インターネット上での交流では、気をつけていても悪意を持った人に騙されることがあります。よくある手口がなりすましです。なりすましは、大人が子どもになりすます行為のことをいいます。なりすましの多くは、時間をかけ信頼関係を築くため、子どもは簡単に騙されます。ネット上で知り合った人に、「個人が特定されるような情報、写真、動画などは安易に送ってはいけないこと」「一度送った情報は取り戻すことはできないこと」を繰り返し伝えてください。また、インターネット接続機器で撮影した写真には撮影地などの情報が記録される可能性があります。一見個人が特定されるとは思えない写真、例えばペットや料理などの写真でも、相手に送ることで、居住地などを特定される可能性があるのです。何度もやり取りをしている相手でも、会ったことがない人を簡単に信用してはいけないと家庭内で常に確認しておきましょう。

**２．ワークシート保護者記入欄に感想をご記入ください。**

　ワークシートの下部に、家族の人から、という欄があります。学習内容について子どもと話し合った後、感想のご記入をお願いいたします。子どものネット上の振る舞いは見えにくく確認しづらいものです。どのようなサイトに興味を持ち利用しているか、常に関心を持ち見守ってください。